

データ・サービスイノベーション創出情報基盤

【キーワード】

メッセージング

リアルタイムデータ

データ解析基盤

情報セキュリティ

匿名化

■概要

ビッグデータ流通の効率化のためのサービス連携ネットワーク基盤

ビッグデータ解析では、種々のデータを集めながら解析を行い、その結果を各種アプリケーションサービスと連携させることで、イノベーションを創出することが期待される。その際、センサーやコントローラ、アプリケーションサービスそれぞれのフォーマットの違いを吸収する仕組みが必要となる。我々のメッセージングネットワークは、データの中身、送信元、送信先などに応じて、データを伝送しながらフォーマット変換を行ったりデータ解析を行う機能を、プロアクティブに提供する。

■詳細

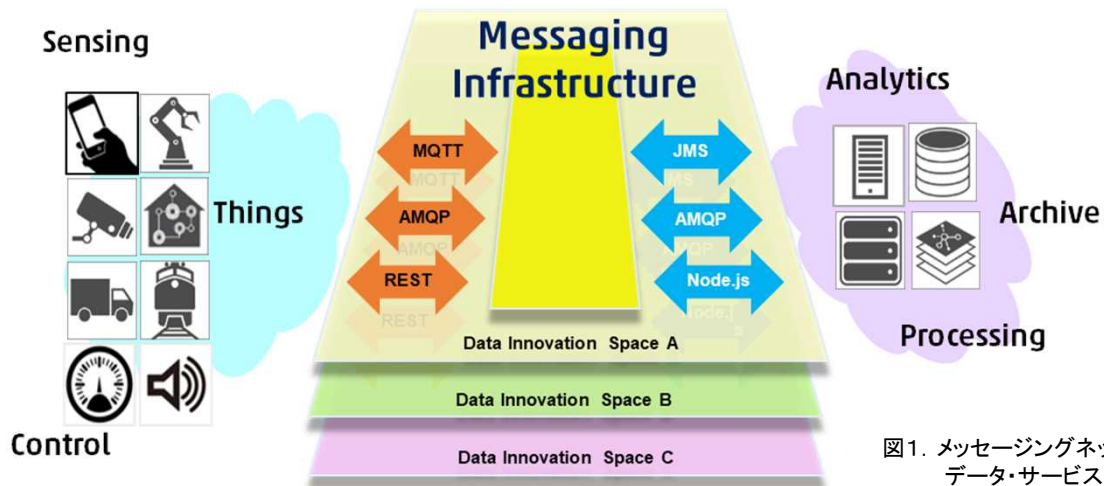


図1. メッセージングネットワークによるデータ・サービスイノベーション創出情報基盤

○競合研究に対する優位性

提案手法は、種々サービスを個々の機器に変換ノードなどを足すことなく機器を、低遅延で、疎結合で連携させることができる。メッセージングネットワーク自身も構造化オーバーレイネットワークとして既存のネットワークに手を加えることなく構築できる点に競合研究に対する優位性がある。

○想定される実施例、応用例

各種センサーネットやコントローラネット、種々のデータ解析サーバを結んで、スマートグリッド、防災システムなどに応用できる。また、各種ロボットなどの連係制御などに応用できる。

○今後の課題、展望

- ・データ解析基盤で提供するデータ処理サービスの種類の拡大や性能強化
- ・情報セキュリティの強化
- ・基盤の管理・運用スキームの改良
- ・アプリケーションサービスなどとの疎結合連携拡張

■連携提案先(産業界・行政等)

- ・自治体、基盤整備産業、データセンター、スマートグリッド、ロボットなどの関連業界

本技術の問い合わせ先

新潟大学 地域創生推進機構

TEL:025-262-7554 FAX:025-262-7513 E-mail:onestop@adm.niigata-u.ac.jp